

ポイント

IFRSの強制適用は100カ国を超える。統一基準は企業の国際再編や提携の土台に。出遅れなら日本の実態に沿わぬ実務慣行も。

鷲地 隆継

国際会計基準審議会 (IASB)理事

日本では会計基準を一つの経済成長に結びつけて考える機会があまりなかったが、実は財務報告の重要性や会計基準の役割についての正しい理解に基づく制度設計は成長の大前提である。財務報告の透明性と信頼性は資本市場の効率的な機能や効率的な資金配分の実現、さらには国際金融の安定を維持するうえで極めて重要である。

IASBは、国際的組織である国際会計基準審議会 (IASB) は、国際的



国際会計、成長に次かせず

認められた単一の国際計基準 (IFRS) を開発する」として、これを達成するまでを目的としている。

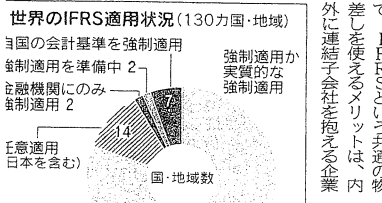
IFRSを何らかの形で自国の会計制度の中に組み入れた国は、この数年間で飛躍的に増えている。

IASBの母体であるIFRS財団は、世界の適用状況について各国の会計基準の設定主体から得た回答に基づき調査し、誤りがなく、これを査法人に確認したうえで公表している。それによれば、世界130カ国・地域のうち100で修正を加えないIFRS (スーパーIFRS) をほとんど全ての国内市場企業に適用を義務づけるか、結果的に採用せざるを得ない仕組みを導入している (図参照)。

なせこれだけ多くの国が適用に踏み切ったのか。それは国際的に認知された基準の適用が財務情報の理解や比較可能性を向上させ、ビジネスの選択肢を増やすからだ。グローバル化したビジネス環境では競争力維持に欠かせず、IFRSはその土台として企業活動を支えているのである。

なせこれだけ多くの国が適用に踏み切ったのか。それは国際的に認知された基準の適用が財務情報の理解や比較可能性を向上させ、ビジネスの選択肢を増やすからだ。グローバル化したビジネス環境では競争力維持に欠かせず、IFRSはその土台として企業活動を支えているのである。

なせこれだけ多くの国が適用に踏み切ったのか。それは国際的に認知された基準の適用が財務情報の理解や比較可能性を向上させ、ビジネスの選択肢を増やすからだ。グローバル化したビジネス環境では競争力維持に欠かせず、IFRSはその土台として企業活動を支えているのである。



IFRSを強制適用する国は105カ国、準備中2カ国、機動的に適用する国14カ国、適用しない国9カ国である。

IFRSを強制適用する国は105カ国、準備中2カ国、機動的に適用する国14カ国、適用しない国9カ国である。

IFRSを強制適用する国は105カ国、準備中2カ国、機動的に適用する国14カ国、適用しない国9カ国である。

日本市場の孤立防ぎ

海外提携・調達に不利解消

海外提携・調達に不利解消

海外提携・調達に不利解消

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ

日本市場の孤立防ぎ